



令和5年度

# 第75回全国造形教育 研究大会 (東京臨時大会)

大会テーマ

「造形教育研究のこれまでとこれから」



<https://www.zenzouren.info>





## 主催者挨拶

全国造形教育連盟委員長 世田谷区立砧南中学校校長  
松永 かおり

# 01

## 祝辞

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官  
小林 恭代  
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官  
平田 朝一  
東京都教育委員会教育長  
浜 佳葉子

# 03

## 次第

第75回全国造形教育研究大会（東京臨時大会）  
大会テーマ「造形教育研究のこれまでとこれから」

# 04

## 1 全国造形教育連盟の起源と歴史

# 06

## 全国造形教育連盟規約

# 07

## 全国造形教育連盟のあゆみ

# 10

## 2 シンポジウム

「造形教育研究のこれまでとこれから」



## 登壇者紹介

11

世田谷代田仁慈保幼稚園

菊地 みぎわ

新宿区立津久戸小学校 指導教諭

平田 耕介

国立市立国立第二中学校 指導教諭

長尾 菊絵

千代田区立九段中等教育学校 教諭

大竹 敬子

東京造形大学特別支援教育非常勤講師

石丸 良成

東京学芸大学教職大学院准教授

西村 徳行

三井記念美術館 運営部主任（教育普及）

亀井 愛

## 3 各地区からの取組紹介

13

(1)北海道造形教育連盟

「“わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～」

(2)福島県図画工作・美術・造形教育連盟

「第67回東北造形教育研究大会福島大会報告」

(3)埼玉県造形教育連合

「造形教育の新天地へ」

17

## 4 基調提案

「これからの全国造形教育連盟」

全国造形教育連盟委員長

全国造形教育研究大会（東京臨時大会）実行委員長

松永 かおり

18

## 5 記念講演

「造形教育の未来に向けて」

講師：

兵庫教育大学名誉教授

福本 謹一 先生

19

## 6 大会実施要項



## 主催者挨拶

全国造形教育連盟委員長  
世田谷区立砧南中学校校長

松永 かおり

この度の地震により被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と被災地の一日も早い復興をご心よりお祈り申し上げます。

第75回全国造形教育研究大会（東京臨時大会）の開催に際し、ご協力を賜りました皆様にご心より御礼申し上げます。

令和4年12月に本職を引き継いで以来、私宛てに多方面の方々からご意見やお考えの声をいただきました。その内容は、今後の造形教育の振興と発展の重要性、その要となる教育研究活動の必要性を説く声であり、本連盟の活動の活性化と、関係者の連携強化を願うという、大変ありがたい声でした。本臨時大会はその声に背中を押していただくことで実現しました。

新型コロナの感染拡大は、教育研究活動の組織運営や研究大会の形態の変化等、大きな影響をもたらしました。現在、各地区での教育研究予算の削減、リアルな子供の姿を見る研究授業の機会減少や、専門性をもつ教員の全国的な減少、教育現場の労働環境の改善等、造形教育を取り巻く課題は山積しています。

ポスト・コロナの教育研究の在り方について検討が求められるこの時期、この臨時大会では、これまで大切にされてきた教育研究活動の意義や価値を再確認するとともに、活発で持続可能な活動の在り方について考えていきます。

本大会が、志を共にする仲間同士の連携や協働の強化につながり、今後の造形教育の振興と発展に向けた具体的なアクションの基盤となりますよう、心から願っております。

※「全国造形教育連盟」という名称に基づき、本大会では、図画工作、美術、工芸等にかかわる全ての教育活動を総称して「造形教育」と表現いたします。



国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官  
（併）文化庁参事官（芸術文化担当）付教科調査官  
（併）文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

小林 恭代

## 「未来のつくり手の育成に向けて」

学習指導要領の全面実施から月日を重ね、「着実な実施」から「よりよい実施」へ向けて、日々授業改善に取り組んでくださっていることに心より感謝申し上げます。

今、学校で学ぶ子供たちが大人になった時、社会はどのように変わっているのでしょうか。この数年でも、私たちの生活は大きく変化しています。予測もしていなかったことが起こる時代だからこそ、子供たちに、変化に前向きに対応する力をつけていく必要があります。Society 5.0 においては、「主体性」、「リーダーシップ」、「創造力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「表現力」、「チームワーク」などの資質・能力を備えた人材が期待されています。私たちが造形教育で育成できる力とは何かを考え、授業改善を進めていくことは、豊かな未来に繋がるという誇りと自負をもって進んでいきたいと、改めて感じております。

教師の学びと子供の学びは相似形であると言われております。先生方が主体的に学ぶ姿は子供たちのよき手本となります。全国の先生方が日頃の実践や子どもの姿を通してよりよい教育について学び合う、本会の意義は、一層重要と言えます。未来のつくり手である子供たちのために、今後も活発な研究活動が推進されますことをご期待申し上げます。

最後になりましたが、本大会の開催関係者の皆様にご感謝申し上げますと共に、それぞれの研究会等の一層の御発展と、皆様方の御健勝を祈念し、挨拶とさせていただきます。



国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官  
(併)文化庁参事官(芸術文化担当)付教科調査官  
(併)文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

平田 朝一

「第75回全国造形教育研究大会」が、開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

小学校と中学校の学習指導要領の全面実施から数年が経ちました。この間、先生方におかれましては、様々な授業の実践を進めてこられたことと思います。本大会では、「造形教育研究のこれまでとこれから」をテーマに、これまで先生方が大切にされてきた教育研究活動の意義を再確認し、今後の造形教育の在り方について研究されています。大会の開催に向け、進め方や準備など、先生方が協議し協力されたこと、また、本日の大会から考えたこと、そこから得られた新たな気づきが、今後の授業改善への大きな機会になると考えています。

学習指導要領における中学校美術科の目標には「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」と記されています。これは、造形的な視点を豊かにもち、生活や社会の中の形や色彩などの造形の要素に着目し、それらによるコミュニケーションを通して、一人一人の生徒が自分との関わりの中で美術や美術文化と豊かに関わるができるようにするための資質・能力のことです。本大会での研究が、これからの子供たちの学びにつながっていくことを期待しています。

最後になりましたが、本研究大会のためにご尽力された関係者の方々に感謝申し上げますとともに、本研究会の一層の御発展と皆様方のご健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。



東京都教育委員会  
教育長

浜 佳葉子

第75回全国造形教育研究大会が、全国各地から造形教育に携わる多くの方々をお迎えして開催されますことに、心からお慶びを申し上げます。また、これまで、全国造形教育連盟が、全国の造形教育の振興に多大な貢献をしてくれましたことに、深く敬意を表します。

東京都教育委員会は、教員の教科等の専門性を高めるための取組等を行う団体を「東京都教育委員会研究推進団体」に認定し、活動の促進、支援及び研究成果の普及を図っています。こうした取組の一環として、図画工作、美術、工芸など造形教育に関連する研究諸団体におかれましても、大変意欲的に研究活動に取り組んでいただいているところです。

各校種の学習指導要領には、図画工作科、美術科、工芸科に共通して重視すべき学習活動として、それぞれの学びの過程において、子供たち一人一人が造形的な見方・考え方を働かせることができるようにすることなどが示されています。

こうした趣旨等を踏まえ、本研究大会は、「造形教育研究のこれまでとこれから」をテーマに掲げ、これまでの教育研究活動の意義や価値を再確認するとともに、持続可能な活動の充実を図り、関係者間の連携や協働を強化することを目指しています。「つくり、つくりかえ、つくる」といった造形活動は、一人一人のアイデアや感性を十分に発揮しながら、ものづくりを通して、豊かな生活を実現していくことを目指す大切な教育活動です。本研究大会の成果が、全国の教育の場に広がっていくことを期待しています。

結びに、本研究大会の開催に御尽力いただいた関係の皆様々に感謝申し上げますとともに、全国造形教育連盟の益々の御発展を祈念いたしまして、挨拶いたします。

第75回全国造形教育研究大会(東京臨時大会)  
大会テーマ「造形教育研究のこれまでとこれから」

次 第

◆ 教材展見学 12:00～13:00 センター棟1階「102 研修室」

◆ 大会 13:00～17:00 センター棟4階「417 セミナーホール」

開会式

- ・開会宣言
- ・主催者挨拶
- ・来賓挨拶
- ・来賓紹介

1 共通理解 全国造形教育連盟の起源と歴史

2 シンポジウム「造形教育研究のこれまでとこれから」

3 各地区の取組紹介

(1) 北海道造形教育連盟

「“わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～」

(2) 福島県図画工作・美術・造形教育連盟

「第67回東北造形教育研究大会福島大会報告」

(3) 埼玉県造形教育連合

「造形教育の新天地へ」

休憩(教材展見学)

4 基調提案「これからの全国造形教育連盟」

5 記念講演「造形教育の未来に向けて」

講師:兵庫教育大学名誉教授 福本 謹一 先生

閉会式

- ・謝辞
- ・令和6年度 第76回全国造形教育研究大会について
- ・閉会宣言

◆ レセプション 17:30～19:30 センター棟2階「カフェフレンズ」



# 「全国造形教育連盟の起源と歴史」

## (1) 全国造形教育連盟とは

全国造形教育連盟は、我が国の造形教育の振興を目的に結成された、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援教育、美術館の研究団体の集合体である、全国的な組織です。

その歴史は古く、昭和 23 年から毎年全国各地での研究発表大会を開催し、造形教育に携わる教員間の交流の場を設け、互いの取組から学ぶ場や、人と人を繋ぐ役割を果たし続けてきました。

取組は徐々に広がり、2008 年には InSEA 世界大会(大阪)への共催、同時期には、日本教育美術連合との共催大会を始めるなど、活発な活動を展開してきました。

近年の教育をとりまく環境の変化により、本連盟の活動にも様々な影響がありました。大会の中止を余儀なくされた年もありましたが、加盟している各地域の教育研究団体は、オンラインの活用や発表形態の工夫によって教育研究活動や大会開催を継続してきました。

また、本連盟は、わが国を代表する造形教育に関する全国的な研究組織として広く認知されており、企業や諸団体等が主催する造形教育関連事業の後援や協賛、共催等の依頼、コンクールや絵画展の審査員の推薦等を受けています。

## 全国造形教育連盟の活動(令和 5 年度(2023 年度)の例)

4月中旬 本部会計監査終了

5月下旬 本部役員委嘱状発送

6月上旬 都道府県名簿・代議員名簿提出の締切り

7月上旬 第一回本部役員会

7月～8月 文化庁・各団体へ後援名義申請

9月 全造連名簿・代議員名簿 作成、完成次第発送

10月～3月 こども絵画コンクール審査(住友生命保険相互会社:協賛)

世界こども図画コンテスト審査(一般社団法人家の光協会:後援)

全国学校図工・美術写真公募展審査(日本広告写真家協会:共催)

世界児童画展審査(公益財団法人美育文化協会:後援)

読書感想画コンクール審査(公益財団法人全国学校図書館協議会:後援)

全国児童・生徒木工工作コンクール審査(日本木材青壮年団体連合会:後援)

未来の科学の夢絵画展審査(公益社団法人発明協会)

ゆうちょ銀行アイデア貯金箱コンクール一次審査(株式会社ゆうちょ銀行)

2月～3月 各団体への報告

第75回全国造形教育研究大会(東京臨時大会)

第二回本部役員会

本部会計監査依頼

各都道府県 新年度の名簿作成依頼



## (2) 大学部会の活動

大学部会は研究機関としての特性を生かし、加盟する大学間で連携しながら、以下の3つのことを行っています。

- ① 全国造形教育研究大会の広報及び報告
- ② 教員養成系大学の課題についての現状報告と情報交換
- ③ 中学校美術科教員実態調査

このうち、「③中学校美術科教員実態調査」の結果については、日本教育大学協会全国研究部門代表者連絡協議会を通して、日本教育大学協会長へ「中学校美術科教員専任教諭の適正配置に関する要望書」として提出しています。

## (3) 新たな取組

令和5年度は、ホームページのリニューアル、Facebook や公式 LINE など SNS の開設、「全国造形教育連盟・全国代議員会名簿」のデジタル化を進め、連盟の組織活性化と同時に事務的業務のスリム化を図っています。



ホームページ



公式 LINE



Facebook

## 全国造形教育連盟規約

- 1(名称) 本連盟は、全国造形教育連盟と称する。
- 2(目的) 本連盟は、全国造形教育の振興を図る。
- 3(事業) 本連盟は、上の目的を達成するために、次の事業を行う。
  - イ各加盟団体及び各学校種別部会間の研究の交流、その連絡を行う。
  - ロ毎年1回大会を開き、研究ならびに必要な決議を行う。
  - ハ目的を同じくする他の国際的機関および国内的機関団体等との研究の交換、その他の連絡を行う。
  - ニその他本連盟の目的達成に必要な事業を推進する。
- 4(組織) 本連盟は、各都道府県の造形教育団体をもって組織する。
- 5(機関) 本連盟に次の機関をおく。
  - イ決議機関として代議員会
  - ロ執行機関として本部役員会
- 6(代議員会) 代議員会は本部役員ならびに代議員を以て構成し、毎年1回委員長の召集により大会会期中に行う。代議員は各都道府県の代表7名とする。
- 7(本部役員会) 本部役員会は、委員長1名、副委員長3名程度、事務局長1名、学校部長各1名を以て構成し、必要に応じて委員長が召集する。
- 8(役員の仕事) 委員長は本連盟を代表し会務を執行する。副委員長は委員長を補佐する。部長は学校種別に必要な事業を推進する。監査役員は2名とし、会計の監査にあたる。
- 9(役員の出任期) 委員長、副委員長、監査委員は代議員の互選により選出し、任期は2ヶ年を一期とし、最長4期とする。
- 10(事務局) 委員長のもとに事務局をおく。事務局は事務局長1名と事務局員若干名とし、本連盟の事務及び会計にあたる。
- 11(経費) 本連盟の経費は、加入団体の負担金ならびに事業収入、その他寄付金をもってまかなう。
  - イ加盟団体の負担金は、年額1都道府県8,000円  
(1都道府県内に2以上の加盟団体をつくるときは1団体4,000円)とする。  
(1998年8月19日、東京大会において負担金額改正)
  - ロ大会会費はその都度決定し参加者の負担とする。部会の経費は必要に応じ大会会費はその都度決定し参加者の負担とする。部会の経費は必要に応じ、別に徴収することができる。
- 12(規約の発効) この規約は昭和49年10月30日より発効する。平成18年11月1日改正、同日発効。平成19年11月14日改正、同日発効。令和4年8月26日改正、同日発効。

### 《申し合わせ事項》

- 1 各都道府県団体に各校種別(保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、特別支援学校)が揃っている場合は、それぞれから代表する代議員7名を限度として選出する。各校種が揃っていない場合は、所属する校種から偏りのないよう選出する。毎年5月末日までに連盟本部に連絡する。代議員は単なる代議員会構成員であるだけでなく、連盟本部を通じて全国諸団体との日常的な研究、交流、運動等の情報交換を行う。(1992年11月18日、京都大会において代議員5名を7名に変更)
- 2 当分の間、都道府県の実績によっては、当該都道府県団体の希望があれば、県内地域、あるいは学校種別団体の全造連への直接加盟を認める。この場合は加盟団体毎に負担金を納入し、代議員は学校種数の人数を選出する。
- 3 副委員長は、各都道府県から全造連全国大会開催地の当該年度代表者と次年度代表者、及び委員長が推薦した者の3名を基本とする。副委員長は、各都道府県から全造連全国大会開催地の当該年度代表者と次年度代表者、及び委員長が推薦した者の3名を基本とする。

## 全国造形教育研究大会のあゆみ

回	年月	会場	大会主題
1	昭和 23.10	一宮市	図画工作教育の根本理念の討議と解明
2	24.10	京都市	図画工作教育振興の具体案如何の協議
3	25.9	広島市	図画工作における評価の実際
4	26.10	福岡市	鑑賞教育、全国児童図画工作展
5	27.10	金沢市	生活と美術、全国児童生徒図画工作・作品展
6	28.11	大阪市	指導要領の検討
7	29.8	仙台市	指導要領ならびに指導内容の検討
8	30.11	東京都	現下の図画工作教育を阻むものは何か、改善策
9	31.8	札幌市	造形教育において、つくりだす力を養うにはどうすればよいのか
10	32.10	松山市	現代日本の図画工作教育の反省と今後の方向
11	33.10	長野市	図画工作科の本質を再検討し今後の対策をたてる
12	34.10	神戸市	図画教育の実情を明らかにし、その新しい建設へ
13	35.8	神奈川県	生きる喜びの基をつくり出す造形教育
14	36.11	別府市	いきいきとした生活をつくりだす造形教育
15	37.10	富山市	人間づくりの造形教育を確立するために
16	38.8	東京都	科学と美術教育、伝統と美術教育、原理と方法
17	39.11	宇都宮市	造形教育の実践をとおして、豊かな個性を育てる
18	40.8	東京都	第17回国際美術教育会議東京大会の内容に包含されておこなわれた
19	41.10	盛岡市	たくましい創造力を育てる造形教育の実践
20	42.10	新潟市	人間形成をめざす造形教育の現実的課題と解決策
21	43.8	高知市	造形教育の今日的課題を究明し、ゆたかな感性とたくましい表現力を育てよう
22	44.8	那覇市	造形教育を風土の中でどのようにいかすか
23	45.10	秋田市	ほんとうの美しさをつくりだす授業をもとめて
24	46.10	静岡市	たくましい創造力を育てる造形教育
25	昭和 47.11	東京都	未来を指向する美術教育は何か
26	48.10	京都市	わが国の造形教育の今日的課題は何か
27	49.10	和歌山市	子どもと共にあゆむ造形—ゆたかな発想をもとめて—
28	50.10	山形市	ゆたかな心情とたくましい創造力を育てる造形教育
29	51.6	東京都	緊迫した教育課程改訂にどう対処するか
30	52.7	札幌市	みずみずしい中身でしなやかな子どもを育てる造形実践
31	53.10	埼玉県	造形教育の本質にせまる実践はどうあるべきか
32	54.10	仙台市	豊かな創造力を育てる造形活動を求めて
33	55.7	愛知県	自らつくりだす喜びを育てる造形教育
34	56.6	長岡市	生きているあかしの表現
35	57.11	佐賀県	創り出すよろこびを求めて—日々の実践の中で、今日的課題を探る—
36	58.11	東京都	独自性を見なおす—国際的視野に立った発展する美術教育の今日的課題—

37	59.10	長野県	心おどらせてとりくむ造形
38	60.10	奈良県	明日に生きる創造力の開発をめざして
39	61.8	旭川市	子どもの心をゆり動かす造形教育 一つくる心の拡がり <sup>り</sup> と深まりを求めて-
40	62.10	千葉県	子どもの心を掘り起こす造形教育
41	63.11	愛媛県	心ときめき、ひびきあう美術教育
42	平成 1.8	青森県	子どもの心に創るよろこびをひきおこす造形教育 -豊かな感性と、うるおいのある表現活動を求めて-
43	2.11	熊本県	よろこび・いきいき造形教育 -自己表現に心ふるわせる子どもを求めて-
44	3.7	東京都	審美教育と英知
45	4.11	京都府	新たな時代をきり拓く造形教育
46	5.8	沖縄県	21世紀に向けての造形教育
47	6.11	神奈川県	いま、さらに 豊かな感性・創造のよろこびを
48	7.11	長野県	いのち <sup>に</sup> ふれる造形活動 一つくるよろこび自分らしさの表現を求めて-
49	平成 8.10	東京都	人間・表現・環境
50	9.7	東京都	造形美術教育の再創造
51	10.8	東京都	人間・造形美術・教育-造形美術教育の再創造-
52	11.8	埼玉県	自分“彩”発見「自分さがしの旅」をしつづける子どもの造形活動
53	12.8	静岡県	開く造形教育に 生き生き交流
54	13.9	北海道	<いま><ここ><わたし>を基軸にして造形の未来を創る
55	14.8	沖縄県	南風にのせ！手・目・心の万人(うまんちゅ)の造形教育
56	15.11	東京都	「人間・造形・成長」-造形美術教育を問い直す-
57	16.8	福島県	「ほんとうの空のもと ほんものに <sup>に</sup> 出会う瞬間」-自分いろの造形活動を求めて-
58	17.11	神奈川県	つくり続けるよろこび、それは生きるよろこび ～色と形のメッセージIからWEから～
59	18.11	長野県	私っていいな!!“いろ・かたち”生きあい学びあい
60	19.11	熊本県	夢と勇気と感性と - 未来を拓く造形教育の可能性を求めて -
61	20.8	大阪府	こころの歓びを広げる教育美術のこれから - 変えるもの・変えざるもの・教育原理の再構築へ -
62	21.11	千葉県	きらめく感性 ときめく思い うみだせアート
63	22.8	福島県	「つくる喜び、みる感動!! 子どもの今と未来をつなぐ造形教育」 ～連携を大切に <sup>に</sup> したこれからの造形教育を求めて～
64	23.7	北海道	“わたし”を創る - 自立と共生の造形教育をめざして -
65	24.8	沖縄県	- <sup>アイランド</sup> 太陽の島から発信する造形教育 -
66	25.11	東京都	造形美術教育のダイナミズム - 成長と連携 -
67	26.10	山梨県	造形100年教育 - わたしを <sup>みかへ</sup> 俯瞰して見えるもの -
68	27.11	岐阜県	ひとりひとりに「つくる喜び」を ～豊かな心と表現力を育てる造形美術教育～
69	28.11	宮城県	よさや美しさ～つながりの中に生まれるものに向かって～
70	29.11	長野県	私っていいな!つながる ひろがる アート“響 <sup>きこ</sup> ・同 <sup>どう</sup> ・帯”
71	30.7	秋田県	あきた発 新たな美を拓く～わたしを問い、発信する造形活動～

72	令和 1.11	愛 知 県	感性豊かに共に生きる
	2.11	( 千 葉 県 )	(新型コロナウイルス流行の影響により中止)
73	3.10	北 海 道	「わたし」を創る ～今を生きる、共に生きる造形教育」 「この子が 感じる=考える=表す 造形活動 ～造形的な見方・考え方を豊かにする 学びを通して～」
74	4.8	長 野 県	IMA!∞ふれて はじまる 感動物語 私っていいね! ～つくり出す形・色 ひびき合う感性 今を生きる私たち～
75	5.2	東 京 都	「造形教育研究のこれまでとこれから」(臨時大会)



## 2 シンポジウム「造形教育研究のこれまでとこれから」

現在、教育現場では一人一台端末や高速大容量通信などの環境整備が整い、教員には与えられた環境を最大限に活用し、教え方、学び方の改革と教育活動の DX(デジタルトランスフォーメーション)を進めていくことが求められています。

また、グローバル化の進展や多文化共生社会の到来により、社会全体でこれまで以上に相手の状況や考え等を理解し、思いやりや共感の心をもつことが大切になりました。

さらに、先般の新型コロナウイルスの感染拡大や不安定な国際情勢、災害など、予測不可能な事象がさまざま起こっています。

そのような変化の激しい社会を生き抜いていく子供たちに、我々は造形教育を通して何を伝え、何を身につけさせていくべきなのか。

このシンポジウムでは、保育園・幼稚園、小、中、高、特別支援教育、美術館、そして大学と、全造を組織する各部会を代表して7名の登壇者によって、以下の3点を柱として、シンポジウムを進めていきます。

- 1 コロナ禍を経た各部会の苦労や課題、教育 DX による変化などについての情報共有
- 2 これからの時代、造形教育にはどのようなことが求められているのか、造形教育に関わる者として、我々に求められる心構えとは何か
- 3 これからの教育研究活動の充実に向けて、具体的なアクションとは

会場の皆様や、ZOOM でご参加のみなさんとも協議していきます。どうぞ進行にご協力ください。

## 登壇者紹介



世田谷代田仁慈保幼稚園  
菊地 みぎわ

2009年大妻女子大児童学科卒。小学校・幼稚園の教諭免許取得。卒業後は東京とバンコクで幼稚園勤務。また美術館や児童館での子ども向けアートプログラムなどに携わる。2018年に保育士資格取得し社会福祉法人仁慈保幼稚園に勤務。現在、世田谷代田仁慈保幼稚園で地域と連携しながら、子どもの主体性を大事にした保育と大人が共に学び合う場、新しい出会いを共有する場を目指している。



新宿区立津久戸小学校 指導教諭  
平田 耕介

民間の企業に約6年勤務。平成5年度に、都立特別支援学校教員となり、都公立中学校美術教員を経て、平成12年度、都公立小学校図工専科となる。平成17年度第44回東京都図画工作研究大会城東大会研究局長、その後、東京都図画工作研究会副会長、理事長、参与、全国造形教育連盟事務局長を経て、平成29年度、主幹教諭から指導教諭となり、東京都図画工作研究会理事長を同年度から令和4年度まで勤め現職。



国立市立国立第二中学校 研究主任・指導教諭  
長尾 菊絵

武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業、東京都教育研究員、東京の開発21、国立美術館を活用した鑑賞教育指導者研修、東京教師道場リーダー(27年~29年)。平成24年より東京都中学校美術教育研究会研究部長を6年間務める。「評価規準作成、評価方法の工夫改善のための参考資料(平成23年)」作成協力者。学習指導要領実施状況調査作成委員(平成24年度)勤務校では学校風土を手立てとし脳科学をエビデンスとした授業改善の研究をすすめている。



千代田区立九段中等教育学校  
大竹 敬子

大阪芸術大学美術学科日本画専攻卒業。大阪府堺市立東百舌鳥中学校にて教員としてのキャリアをスタートさせる。その後、東京都立国分寺高等学校に異動し、平成25年度教育研究員を務める。中学校と高校での指導経験を活かし、現在、千代田区立九段中等教育学校で勤務。中学高校を通した系統的な美術教育プランを模索している。

東京造形大学特別支援教育非常勤講師  
石丸 良成



東京造形大学で彫刻を学び、現在は同大学の特別支援教育概論の非常勤講師と小学校の支援学級の図工の授業を楽しんでいる。作家活動をしながら、石材業や造形会社に勤めた後、特別支援学校の教員になった。学生の時に幼児のお絵描き造形教室で活動したことが、発達の理解や授業に役に立った。知的障害学校では、造形美術や作業学習の教材開発の研究を続け研究会の講師を務めた。触れて音で遊ぶことができる彫刻作品や玩具を制作している。

東京学芸大学教職大学院准教授  
西村 德行



1971年、京都市生まれ。東京都足立区立花畑中学校、筑波大学附属小学校教諭を経て、現在は東京学芸大学教職大学院准教授。専門は教科教育学（美術科教育）、鑑賞教育。図画工作科や美術科の授業づくりやカリキュラムの研究、教員養成や現職教員の教育を行う。主な著書に「図画工作・みかたがかわる授業づくり」（単著、東洋館出版社 2005年）、「2030年の学校教育—新しい資質・能力を育成する授業モデル」（編著、明治図書 2021年）等

三井記念美術館 運営部主任（教育普及）  
亀井 愛



女子美術大学卒業、成城大学大学院文学研究科博士課程前期（美学・美術史）修了。公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団の後、2007年より三井記念美術館に勤務。教育普及員を経て 2015年より現職。学芸員と連携しながら、教育普及事業の企画・実施。地域や教育機関と連携した美術館を拠点とする学びと実践の場づくりに取り組む。学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者（高校工芸）。

### 3 各地区の取組紹介

全国造形教育連盟は、各都道府県の造形教育に関わる研究団体等で組織されています。

それぞれの地域では、これまで継続的に充実した研究活動が展開され、その成果を様々な研究大会などを通じて発信してきました。

しかし、先般の新型コロナウイルスの感染拡大をはじめ、様々な教育をめぐる環境の変化などによって、どの地域も教育研究活動の形態や在り方等に影響が出ています。

そのように同じ課題や悩みを持つ各地域の中で、様々な創意工夫によって教育研究活動を継続し、新しい形を模索しながら取り組まれている事例を共有することで、課題解決のヒントや新しい教育研究活動に対する示唆を得ることができればと、今回3つの地域に事例報告をお願いしました。

- (1) 北海道造形教育連盟  
「“わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～」
- (2) 福島県図画工作・美術・造形教育連盟  
「第67回東北造形教育研究大会福島大会報告」
- (3) 埼玉県造形教育連合  
「造形教育の新天地へ」



## 各地区からの取組紹介 北海道造形教育連盟(北海道)

代表者 会長 東 尚典 原稿作成責任者 事務局長 堀口 基一

# “わたし”を創る～今を生きる、共に生きる造形教育～

## 1 団体の概要(紹介)

私たち北海道造形教育連盟は、1950年(S25)北海道美術教育会として発足し、1952年(S27)北海道図画工作連盟、1959年(S34)北海道造形教育連盟として北海道の造形教育振興をめざし、活動しております。札幌市に本部を置き、4ブロック・16地区サークル(道央:石狩、空知、後志/道北:上川、旭川、留萌、宗谷/道南:渡島、函館、檜山、日高/道東:十勝、帯広、釧路、オホーツク、根室)でチーム北海道を構成し、現在、520名ほどの会員が各地区で活躍しております。



## 2 令和5年度の取組

今年度は、4月総会を会同とオンラインのハイブリッド方式で行い、その他諸会議も会同(常任委員会)とオンライン(部長会)を目的に応じて併用して行っています。全道はたいへん広域なため、各地区サークルの活動交流は、年4回のオンライン交流会やネットワーク会議を活用しています。年2回発行する連盟報(156、157号)も紙版とデータ版の両方で配付しています。

また、1951年(S26)第1回札幌大会から始まった全道造形教育研究大会は、今年度、石狩・道央地区を中心に第72回いしかり大会として「『こうしたい』わたし自身に出会う～造形表現をとおした自分の『よき』への気付き『思い』のひろがり」の研究主題のもと、令和5年11月18日(土)オンライン方式にて開催されました。事前に配信された授業動画の視聴、オンラインでの研究協議や実践発表、元教科調査官の奥村高明先生(日本体育大学)のご講演など、充実した研究大会となりました。



当連盟の事業には、北海道教育美術展があります。1974年(S49)第1回展が開催されてから、今年度は第49回を迎えました。道内の幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校の児童生徒の力作が全道各地から約8千点集まりました。12月中旬に審査会を行い、奨励賞100点、入選300点ほどを選出します。道内各地から児童生徒や保護者の皆様が参加しやすいよう

に冬季休業中の1月に札幌市内のギャラリーにて表彰式、展覧会を行っています。

研究活動では、各地区サークルでの活動に併せ、本部(札幌)でも新しい取組をスタートいたしました。これまで組織されていた札幌市造形教育連盟を発展的に解消し、本部研究として4つの部会(教師力・つながり・子どもの見取り・ミュージアム連携)を組織し、授業研究をとおして2回(12月・2月)の研究全体会で協議を行います。研修活動では、上記にある北海道教育美術展審査研修会のほか、若手教員向けの実技研修や末永幸歩先生(6/24)、小林恭代教科調査官(7/8)の講演会なども実施し、連盟内外からの研鑽を積んでいるところです。

## 3 今後に向けて

今年度は、組織改編を含む当連盟の活動全般を再考する契機となる年度となりました。コロナ禍を経て、学校における教育活動や教員の研究、研修活動、連盟のような任意団体での活動の在り様が大きく変わろうとしています。このような状況を受け、当連盟では将来検討委員会を組織し、所属会員に係る規約改定(現職・顧問など)、業務分掌や内容の洗い出しと再編、全道造形教育研究大会の意義やニーズの再確認、運営や地区サークルにおける研究活動との連携、持続可能なビジョンの創出とDXの推進などの課題について検討を進めています。

様々な観点から令和の造形教育を見つめ、心豊かに児童生徒を育み、“わたし”を創り今を生きる、共に生きる造形教育の素晴らしさを今一度確認し、児童生徒とともに、つくり出す喜びを大切にしたいと連盟の活動を充実させていきたいと考えます。



道造連ホームページ



各地区からの取組紹介 福島県図画工作・美術・造形教育連盟(福島県) 代表者 会長 平塚 学

## 1 団体の概要(紹介)

# 第67回東北造形教育研究大会福島大会報告

福島県図画工作・美術・造形連盟は、平成 12 年に県内の幼・小・中・高・大学等の造形教育研究団体相互の連絡調整を司る団体として発足した。主に、東北造形教育研究大会及び全国造形教育研究大会の福島県での開催に向けての連絡調整を行い、平成 16 年にいわき市、平成 22 年に福島市で開催した全国造形教育研究大会や平成27年に郡山市で開催した東北造形教育研究大会を主催してきた。

また、福島県図画工作・美術・造形教育連盟を含め東北6県の造形教育連盟で組織する東北造形教育連盟は、東北地方の造形教育の振興を図るため、各県の輪番制により、毎年、東北造形教育研究大会を開催している

## 2 令和5年度の取組

令和 5 年度は、第 67 回東北造形教育研究大会福島大会を 11 月 22 日(水)にいわき市で開催した。コロナ禍での計画だったため、オンラインでの開催とし、いわき市内からの参加者のみ参集とする形で実施した。研究主題は「つなぎ つながり つくり出す～夢と未来～」とし、幼稚園1つ、小学校3つ、中学校2つの計6つの実践発表を行った。実践発表では、よりオンラインでの参加者に研究の手立てが伝わるよう授業の様子を複数のカメラを使って撮影し、編集した動画を使って発表した。研究協議は Zoom のチャット機能を使って実施した。各分会のオンラインでの参加者は多くて 40 名程度だったこともあり、大きな混乱なく協議できた。



授業や研究に対する講評は、幼稚園と小学校部会については文部科学省初等中等局教育課程課の小林恭泰代調査官に、中学校部会は平田朝一調査官に行ってもらい、大変貴重な話を伺うことができ、参加者にとって有意義な機会となった。

閉会行事では、次年度開催県の山形県より、第 68 回東北造形教育研究大会山形大会が、「造形の“め”をひらいて、ともにつくる未来」を大会テーマに、令和 6 年 11 月 22 日(金)に山形市を会場に開催することが報告された。感染症対策として行ったオンライン開催であったが、「複数台のカメラを使った動画による研究発表は手立てがよくわかりよかった」「ブレイクアウトルームを自由に行き来でき、幼小中の発表を見ることができよかった」等、Zoom ならではの開催について比較的良好な意見が多く寄せられた。



## 3 今後に向けて

次の福島県での東北造形教育研究大会は6年後の令和 11 年度に福島市で開催予定である。その開催に向け各校種ごとに研究を深めるとともに、東北 5 県や県内の幼小中の造形教育諸団体との連携を深め、準備をしていく予定である。

問い合わせ先:郡山市立河内小学校長 平塚 学

[hiratsuka.manabu@fcs.ed.jp](mailto:hiratsuka.manabu@fcs.ed.jp)

各地区からの取組紹介 埼玉県造形教育連合(埼玉県)

代表者 理事長 森田 豊 原稿作成責任者 編集局長 板橋 利行



## 造形教育の新天地へ

### 1 団体の概要

本連合は、県内における造形教育研究団体等の活動を促進すると共に、相互の連携を密にし、本県造形教育の振興を図ることを目的に関プロ造形教育研究大会等の開催に向け、規約を設けて組織しています。

### 2 令和5年度取組

第62回関東甲信越静地区造形教育研究大会埼玉大会

会期 令和5年11月17日(金) ※1日開催

会場【全体会】川口総合文化センター・リリア

【公開授業】川口市立舟戸幼稚園 川口市立元郷南小学校

川口市立南中学校 川口市立高等学校



Artlearn アートルーンティスとは

Art+learn (学び)

+transformation(変革)

+inclusion (包括)

+sustainability(持続可能性)

埼玉県では、毎年、県の造形教育研究大会を開催し、創造体験研修会と授業実践研修会を通して、多くの参加者を集め研修を積み重ねてきました。そうした長年の研究の中で明らかにされてきた「3つの追究観点」は、造形教育の原点に立ち返りながら、新たな実践に挑む上での指針となっています。

本大会では、テーマである「造形教育の新天地!ワイワイ埼玉 Artlearn」のもと、これまで埼玉県が培ってきた3つの追究観点「受け止めよう子どもの心」「育てよう確かな力」「深めよう生き生き授業」の取組を続けるとともに、特色ある7つの分科会と4つの公開授業・保育でこれからの造形教育を提案しました。大会テーマの「ワイワイ埼玉」は、埼玉の地に集った造形教育を心から愛する仲間誰もが、年齢、経験、地域、参加方法などを問わず、仲良く、楽しく、時には厳しく熱を込めて語り合う姿をイメージしたものです。

また、本大会は参集参加・オンライン参加・オンデマンド参加を可能にしたハイブリッド大会への挑戦でもあり、持続可能な造形教育研究の推進のために、組織の在り方の見直しにも挑んでいます。

当日はオンラインも含めると約270人の参加者を迎え、素晴らしい提案によりイメージ通りの交流ができたことが何よりの成果です。運営面等の課題もありましたが、参加者のアンケートからもその満足度が伺えました。

### 3 今後に向けて

次年度からは、「連合」から県内における造形教育研究団体等の活動に戻ります。

関プロ埼玉大会の成果と課題等を各団体でも検証し、次年度以降の活動へつなげていきます。



埼玉県美術教育連盟 HP



## 4 基調提案「これからの全国造形教育連盟」

※ 基調提案本文は、当日別紙にて配布します。



## 5 記念講演 「造形教育の未来へ向けて」

大会テーマ「造形教育研究のこれまでとこれから」を受け、「造形教育の未来」について、国内外の造形教育に精通された先生の様々なお話から、造形教育の未来に向けたお話をいただきます。



講師

兵庫教育大学名誉教授

**福本 謹一 氏**

文部科学省の中央教育審議会教育課程部会芸術ワーキング主査

InSEA (国際美術教育学会) 評議員

第2回ユネスコ芸術教育世界会議国際顧問などを歴任

2019年 文化庁長官表彰受賞

## 6 第75回全国造形教育研究大会(東京臨時大会)実施要項

大会テーマ「造形教育研究のこれまでとこれから」

### 1 期日 令和6年2月 23(金・祝日)

時間 13:00 から 17:00 まで

・教材展示は 12:00～、

・懇親会は 17:30～

### 2 会場 オリピック青少年センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

・大会会場 センター棟 4階 417 300 名収容 セミナーホール

・教材展示会場 センター棟 1階 102 200 名収容 PC 室

・懇親会会場 センター棟 2階 カフェフレンズ

### 3 主催 全国造形教育連盟 第 75 回東京臨時大会実行委員会

### 4 目的

#### (1) 全国の造形教育の振興と発展に向けた目的

教育研究活動の意義や価値を再確認するとともに、活発で持続可能な活動の在り方について考える機会とする。志を共にする関係者の連携や協働の強化、今後の造形教育の振興と発展に向けた具体的なアクションの基盤の場とする。

#### (2) 全国造形教育連盟の課題解決に向けた目的

① 全国造形教育連盟の歴史や存在意義、価値についての再確認と周知を図る。

② 全国造形教育研究大会の意義や必要性について共通理解を図り、今後の開催地区決定に資する。

③ 関係各団体との連携強化を図り、造形美術教育の振興と発展に向けた意識統一を図る。

### 5 内容 当日同時 zoom 配信、オンデマンド配信

	次第	内容	登壇者	時間	
	教材展示			1 時間	12:00～13:00
	受付開始			20 分	12:40～13:00
1	開会式	開会宣言	副委員長	1 分	13:00～13:20
		主催者挨拶	委員長	2 分	
		来賓挨拶①	文科省小林先生	3 分	
		来賓挨拶②	文科省平田先生	3 分	
		来賓挨拶③	都教育長代理	3 分	
		来賓挨拶④	日美連理事長	3 分	
		来賓紹介	歴代委員長等	3 分	
2	共通理解	「全造の起源と歴史」	事務局	10 分	13:20～13:30
3	シンポジウム	「造形教育研究のこれまでとこれから」	各校種代表	80 分	13:30～14:50
4	各地区の取組紹介	各地区、部会の取組等について 情報提供 5分×3地区程度 動画 URL 紹介	北海道、埼玉、 福島、	20 分	14:50～15:10



休憩(30分) 教材展示見学 15:10~15:40					
5	基調提案	これからの全国造形教育連盟	事務局長	15分	15:40~15:55
6	記念講演	造形教育の未来に向けて	福本謹一氏	50分	15:55~16:45
7	閉会式	謝辞	本部役員	4分	16:45~16:55
		次年度大会について	滋賀県	5分	
		閉会挨拶	副委員長	1分	
8	撤収作業				16:55~17:00
9	懇親会				17:30~19:30

6 全国代議委員会、校種別会議  
別日程で開催。

#### 7 スケジュール

期日	内容	備考
6月16日(金)	実施決定、内容の方向性確認	日時、会場確定
6月27日(木)	教材展示説明会	日時、展示会場等周知
6月中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNS、各教科部会等を通じて実施を周知(0次案内)</li> <li>・実行委員会組織編制</li> <li>・内容、登壇者及び講師等検討</li> <li>・各地区への情報提供依頼</li> </ul>	R4中に福島・埼玉・北海道に依頼
7月 8月 9月 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容確定 講師への依頼</li> <li>・講師との打ち合わせ①</li> <li>・教材展示説明資料作成、メールで周知、参加申し込み</li> <li>・レセプション会場検討、申し込み</li> <li>・配信対応会社依頼</li> </ul>	登壇者、講師打診
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム内容検討、登壇者確定、依頼</li> <li>・歴史情報収集、動画内容検討・作成</li> <li>・各地区取組発表依頼</li> <li>・滋賀大会事務局長との打ち合わせ</li> </ul>	依頼文発送 ・関ブロ大会参加
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師との打ち合わせ②</li> <li>・シンポジウム内容検討、登壇者プロフィール原稿等依頼</li> <li>・歴史情報収集、動画内容検討・作成</li> <li>・2次案内作成、参加費検討、確定</li> <li>・各地区発表原稿等作成依頼</li> </ul>	
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウム登壇者打合せ、原稿、プレゼンテーション作成依頼、必要に応じて随時登壇者と連絡調整</li> <li>・歴史情報収集、動画内容検討・作成</li> <li>・参加者、懇親会 人数確定</li> <li>・会場設営、事前準備等詳細確認</li> <li>・2次案内公表、参加申込開始</li> </ul>	・参加費、申し込み方法、上限人数等確認

1月	・申し込み締め切り ・紀要プロット確定、原稿作成 ・配信業者打合せ	1/15 一時締め切り 1/25 最終締め切り
2月	・原稿入稿、校正、完成 ・前日準備  ・当日	・袋詰め、最終打合せ  ・タクシーで搬送
後日	・会計まとめ ・HPに当日の報告を掲載、情報整理	

## 8 その他

- (1) 事前申し込み制 Peatix を活用 HP からリンクで申し込み→直接全造口座に入金
- (2) 大会参加費 1000 円、学生 500 円 Zoom 500 円  
懇親会費 5000 円  
・入金されたら領収書と当日の参加証や Zoom のリンク等を当日までにメールで送付
- (3) 必要経費:会場費、配布物印刷製本費、報償費、通信委託費 他

## 9 役割分担

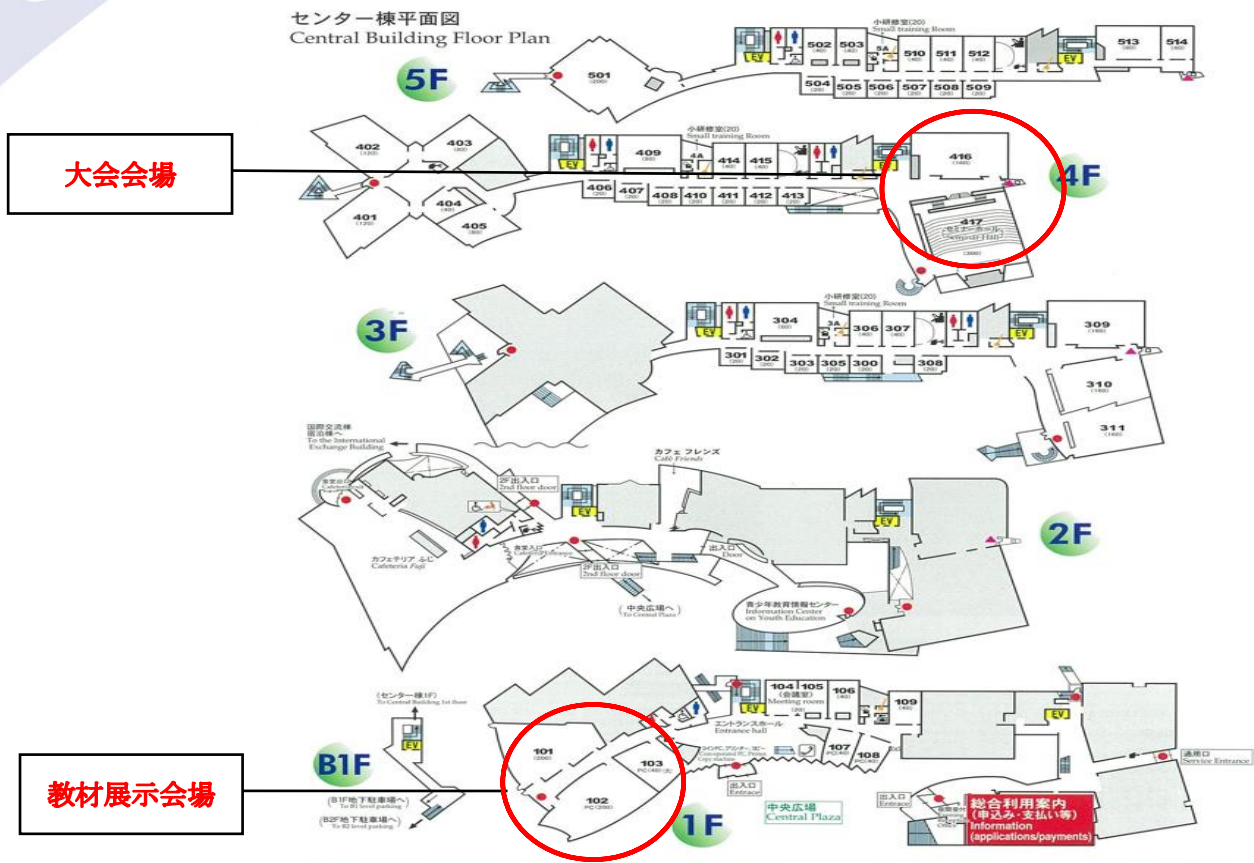
項目	担当	内容
全体計画・連絡調整	・松永 ・柴田	・要項作成 ・進行管理
後援申請	・柴田 ・松永	・文科省(文化庁) ・東京都教育委員会
会場	・松永	・会場確保、会場との連絡調整
案内作成、配布、周知	・倉橋(HP) (デザイン) ・全員(周知)	・内容作成 ・デザイン検討 ・HP掲載 ・印刷、周知配布、SNS等(全員)
大会紀要作成、 当日の配布物確認、調整	・奥井	・作成計画 ・原稿依頼、とりまとめ ・プリントパック対応
当日の Zoom 設定 記録、配信業者対応 写真記録	・福田(写真) ・倉橋(HP)	・写真記録 ・HP掲載 ・配信用データ記録、オンデマンド対応動画編集委託
来賓、講師対応	・松永 ・奥長 ・横枕 ・三澤	・来賓名簿作成、案内状作成 ・講師選定、折衝、依頼文作成 ・挨拶依頼 ・当日案内、対応
参加申し込み 参加者名簿作成	・三浦 ・倉橋(HP)	・申し込みフォーム作成、名簿まとめ ・参加確定通知
教材展示対応	・鶴内 ・平田 ・柴田	・説明要項作成、 ・要項送付、参加とりまとめ ・当日教材展示対応計画、駐車場使用確認 ・当日管理、対応

会計(大会費用)	・深見 ・柴田 ・平田(監査)	・予算案策定 ・出入金管理 ・当日対応 (事務局費ら大会参加費、教材展示参加費) (登壇者報償費、交通費、会場費等対応) ・会計業務全般
当日司会	・柴田	
開会	・奥長	・開会宣言
共通理解 「全造の起源と歴史」	・加藤	・資料収集 ・とりまとめ ・原稿作成 ・当日発表
シンポジウム 「造形教育研究のこれまでとこれから」	・松永 ・倉橋、奥井  登壇者 ・幼保 菊地 ・小 平田 ・中 長尾 ・高 大竹 ・大 西村 ・特 石丸 ・美 亀井	・全体計画、シナリオ案作成 ・登壇者連絡調整、原稿集約、とりまとめ 画像操作  ・進行(西村)
各地区の取組紹介	・松永 ・柴田 ・奥井	・依頼、とりまとめ ・各地区、部会の取組等について情報提供 5分×3地区程度 URL 等紹介 ・該当地区に再依頼 ・原稿要項掲載
基調提案 「これからの全国造形教育連盟」	・松永 ・柴田	・基調提案作成、当日発表
記念講演	・松永 ・福本 謹一氏	・講師選定、依頼 ・連絡調整、当日接待
閉会式	・三澤 ・滋賀県  ・横枕	・謝辞 ・次年度大会について 複数来場の上紹介とのこと ・閉会宣言
懇親会	・三浦 ・深見 ・加藤	・会場確保済み ・参加申し込みフォーム、参加者名簿作成 ・懇親会進行案作成 ・懇親会司会、挨拶依頼 ・会計



10 会場図

センター棟平面図  
Central Building Floor Plan



## II 教材展示協力(賛助会)

ぺんてる株式会社 様  
株式会社サクラクレパス 様  
株式会社美術出版エデュケーショナル 様  
ターナー色彩株式会社 様  
株式会社クラフテリオ 様  
新日本造形株式会社 様  
光村図書出版株式会社 様  
開隆堂出版株式会社 様  
公益財団教育美術振興会 様  
日本文教出版株式会社 様  
日本色研事業株式会社 様  
株式会社美術工芸センター 様  
公益財団法人美育文化協会 様  
和信ペイント株式会社 様



さやがた  
紗綾形柄

きっこうあじろ  
亀甲網代柄

台紙は裏表で色柄が異なるリバーシブル!

# 水墨画 タペストリーセット

水墨画を掛軸みたいに飾れる展示セット!

水墨画に適した和紙とタペストリーがセットになっており、作品が完成したらすぐに掛け軸のような雰囲気のある展示ができます。

台紙は好きな面を選んで使えるリバーシブルで、連結展示も可能です。

台紙(上質紙 386 x 594mm) 1、描画用和紙(B4) 2、タペストリー棒 2、キャップ 4、柄テープ 2、江戸打ちひも(約600mm) 1、説明書

※別途ゼロハンテープを使用します。

536-769

¥539 (¥490)



 **新日本造形株式会社**

<http://www.snz-k.com>

**東京本社** 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-20-16  
TEL: 03-3866-8100 FAX: 03-3866-8130

**大阪支社** 〒537-0003 大阪府大阪市東成区神路1-10-6  
TEL: 06-6974-5111 FAX: 06-6974-2800



暮らしを明るくカラフルに  
**Washin Paint**



ニスの和信

永年蓄積された専門メーカーとしての経験と技術を生かし、高品質で、人と環境にやさしい塗料づくりを行っています。

仕上げが楽しい 仕上げが大切

www.washin-paint.co.jp

和信ペイント株式会社

〒340-0121 埼玉県幸手市上吉羽2100-18  
 お客様センター TEL: 0480-48-2725

**サクラ**

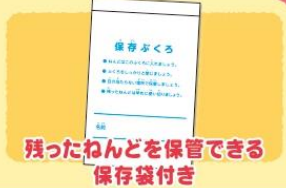
軽量紙粘土  
**きまらみ ねんど**

詳細はこちら



先生に聞いた

ねんどの困りごとを とことん解決!



株式会社 **サクラクレパス**

大阪 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 TEL(06)6910-8800(代)  
 東京 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-20-16 TEL(03)3862-3911(代)



## 祝 第75回全国造形教育研究大会 東京臨時大会

### 美術教育と子供理解

大橋功先生 退職記念単行本刊行!

現場で実践してきた21名の先生が子供理解に根差す美術教育の未来と展望を綴ります。



監修 大橋功  
編著 鈴木光男  
長瀬拓也  
藤原智也  
服部真也

定価 **1,870円**  
(本体1,700円+税10%)  
四六判 200頁

### コミュニティ・オブ・クリエイティビティ

ひらめきの生まれるところ

「ひらめき」に関する研究、ひらめく場づくり、図工をはじめとする様々な教科でのひらめき、ひらめくためのストレッチなど、読者と一緒に「ひらめき」を考える一冊です。



編著 奥村高明  
有元典文  
阿部慶賀

定価 **2,200円**  
(本体2,000円+税10%)  
A5変形判 240頁

### 楽しい図画工作 授業の作り方

実践された良質の題材を丁寧に解題し、実践の価値を知らせると同時に、指導上の留意点や造形学習のちょっとしたコツをわかりやすく提示して指導を確かなものにする手がかりをちりばめています。

編著 福本謹一 山田芳明

低学年編 定価 **2,200円**(本体2,000円+税10%) B5判 112頁  
 中学年編 定価 **2,200円**(本体2,000円+税10%) B5判 120頁  
 高学年編 定価 **2,200円**(本体2,000円+税10%) B5判 144頁



ご注文は、最寄りの書店でお願いいたします。

お問い合わせは、小社ホームページ「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。



心が動く、その先へ。

日本文教出版

日本文教出版株式会社 <https://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社	〒558-0041	大阪市住吉区南住吉 4-7-5	TEL: 06-6692-1261
東京本社	〒165-0026	東京都中野区新井 1-2-16	TEL: 03-3389-4611
九州支社	〒810-0022	福岡市中央区薬院 3-11-14	TEL: 092-531-7696
東海支社	〒461-0004	名古屋市東区葵 1-13-18-7F-B	TEL: 052-979-7260
北海道出張所	〒001-0909	札幌市北区新琴似 9-12-1-1	TEL: 011-764-1201



# 美育文化 ポケット

アートが育つ ひとが育つ

1冊560円(3月、6月、9月、12月発刊)  
 本誌の定期購読および最新号・バックナンバーのご購入は、  
 美育文化協会ホームページ  
<https://www.biiku.jp/>  
 の申し込みフォーム、もしくは、  
[amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp) よりお申し込みください。

美育文化ポケット 検索

「おすすめぞうけい」  
 発信中!



Instagram

@biiku\_pocket

X  
 (旧)Twitter



@biiku\_pocket



第38号  
 特集：アート×  
 science  
 (サイエンス)



第39号  
 特集：アート×  
 communication  
 (コミュニケーション)

公益財団法人 美育文化協会  
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-6-10  
 TEL:03-5825-4801 FAX:03-3865-0271 <https://www.biiku.jp/>

よくわかる図画工作科  
**ICT・プログラミング**  
 活用事例集

イラスト・文  
**岩本紅葉**

監修 本間恭史  
 取材実務協力 関口友美

豊富な実践事例をもとに  
 4コマ漫画を交えて  
 わかりやすく解説!

子ども達も先生も  
 わくわくする事例を  
 紹介します!

新刊

開隆堂

ICT・プログラミングを活用した  
 図画工作の授業がわかる、できる!

23の具体的題材・事例を収録!

ICTのあるあるを4コマ漫画で解説!

よくわかる図画工作科  
**ICT・プログラミング**  
 活用事例集

岩本紅葉 著  
 仕様 B5判 / 112ページ (カラー)  
 定価 2,530円 (本体 2,300円)  
 ISBNコード 978-4-304-03117-5



開隆堂出版

図工・美術

LINE 公式アカウント

友達募集中!



@741etmvy

開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

<https://www.kairyudo.co.jp>



祝 第75回全国造形教育研究大会（東京臨時大会）

光村図書ウェブコンテンツのご案内

生徒作品  
ギャラリー



生徒はみんなアーティスト



全国の中学校・高等学校の生徒作品を紹介しています。授業づくりの参考に、ぜひご覧ください。

■注目の特集

中学生の感性が光る  
「うつくしい！」

編集委員イチオシ！  
「私のこの1点」

<https://artby.jp>



光村図書出版株式会社

東京都品川区上大崎 2-19-9  
tel 03-3493-2111(代表) / Fax 03-3493-5756  
[www.mitsumura-tosho.co.jp](http://www.mitsumura-tosho.co.jp)





**Pentel** **小学校 色えんぴつ12色** (+3色)  
REIMAGINE YOUR WORLD



◆ **芯だけで出来たソフトな色鉛筆**



名前シール入り  
消しゴム・削り器付き

希望小売価格 1,122円 (税込) 1,020円 (税抜)

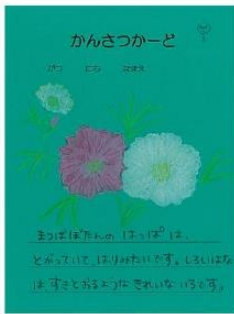
**用途さまざま**



- ・ 3色サービスの価格 (あおみどり、こげちゃ、むらさき)
- ・ せいかつ科での使用【あさがお観察】
- ・ 理科での使用【植物、昆虫等の自然観察】
- ・ 社会科での使用【白地図や山地や平地の塗り分け】
- ・ しろが入っている。【ハイライト、ボカシ、グラデーション】

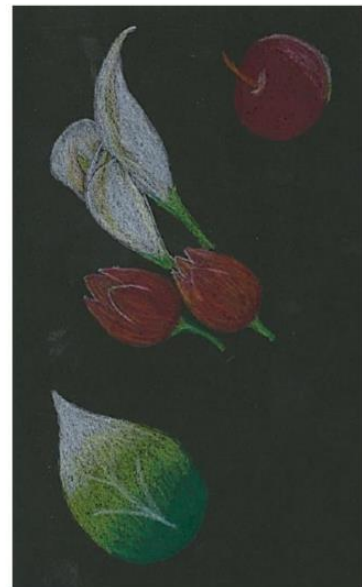
**小学校色えんぴつの特長**

- 1.きれいに塗れ、発色が良い。
- 2.カス出が少なく、ノートを汚しにくい。
- 3.筆記抵抗が小さく、塗り心地良し。
- 4.曲がりやすく、折れにくい。
- 5.軸が芯と同じなので、木の軸に比べ、2倍塗れる。



しろを使った絵

\*花などの、しろ部分と、多色のボカシ



\*重ね塗りで立体感や、質感の表現  
\*光って見える部分のハイライト

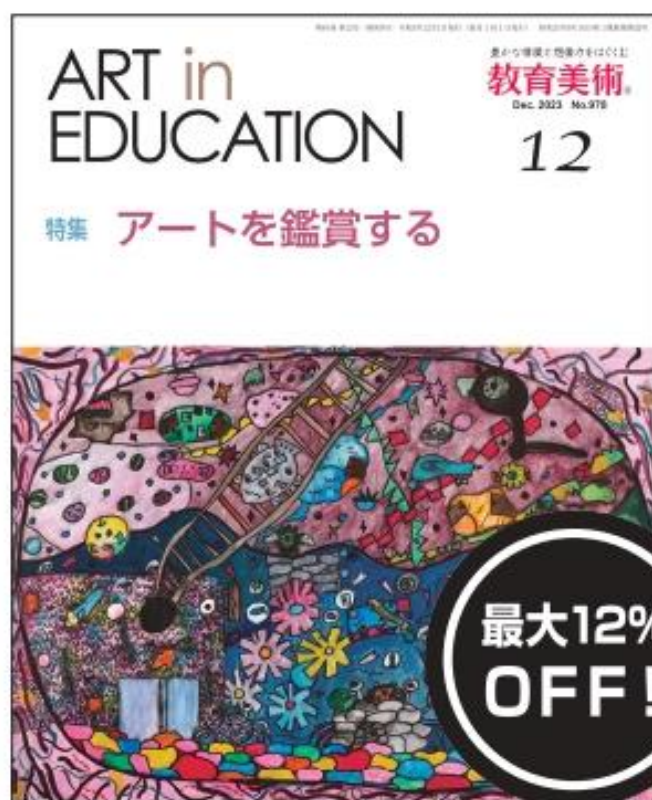
**ぺんてる株式会社** 〒103-8538東京都中央区日本橋小網町7-2  
お客様相談室 ☎0120-12-8133  
秋葉原オフィス(国内営業本部) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-6-10 TEL 03(3866)6161



1935年創刊の子どもの造形・美術教育に役立つ専門誌

# 月刊教育美術®

現場の先生方による  
授業実践原稿も  
随時募集中!



【掲載内容】子どもの絵、保育や小・中学校の授業研究の他、新学習指導要領、特別支援、現代アートなど、美術教育を取り巻く様々なテーマを取り上げています。

年間購読 (1年間12冊・送料当会負担)

定価 12,550円(税込) → **11,040円(税込)**

1冊950円(税込) \* 2月号のみ特別価格2,100円(税込)

公益財団法人 教育美術振興会

〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 サクラ東京ビル

TEL 03-3862-3931 FAX 03-3862-3932

<http://www.kyoubi.or.jp/>

\*ご注文は当会HP、全国書店、Fujisan マガジンサービスへ  
バックナンバー取扱い有り。単品注文可。

# BSSのECサイトが オープンしました！

PC・タブレット・スマートフォン  
で、カタログ掲載全商品が注文でき  
ます。※ご利用には会員登録が必要です。



▲ECサイトはこちら  
[shop.bijutsu.biz](http://shop.bijutsu.biz)

 美術出版エデュケーションル  
bijutsu shuppan Educational

〒162-0845  
東京都新宿区市谷本村町2-19  
TEL:03-3235-5137 FAX:03-3260-2407







Copyright©

全国造形教育連盟

Rights Reserved.